

学校運営協議会議事録

校名	府立淀商業高等学校
校長名	村上 憲文

開催日時	令和5年12月9日(土) 12:00 ~ 13:00
開催場所	会議室
出席者(委員)	委員 3名参加
出席者(学校)	香西 朝夫 事務長、坂脇 康文 教頭
傍聴者	なし
協議資料	次第、令和5年度学校経営計画及び学校評価
備考	

議題等(次第順)
<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校経営計画及び学校評価について (2) 淀翔モールについて (3) 近況報告、今後の予定について (4) その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>(1)(2)・学校は閉鎖的になりやすいが、「淀翔モール」というイベントなどで地域等と連携し、地域の人々と接することが継続した商業の学習となり、生徒の成長に効果がある。また、同時に、地域貢献につながる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸高校や東淀工業高校とのコラボについては大いに評価する。他校と連携することは「淀翔モール」を盛り上げていく材料となり、参加校生徒が相互的に成長できる素晴らしい取り組みである。 ・エコバックや淀商の公式キャラクターである「よどにゃん」グッズの販売については、昨年度の学校運営協議会の意見をいかしたものだと感じている。一つの意見が現実となる素晴らしい取り組みだと思う。 ・生徒が販売する商品については単にひらめきではなく、市場調査をもとに地域住民の方々がどのような商品を求め、自分たちは何を販売したいのかをプレゼンし投票を行って決めているところが評価できる。 ・「メタバース淀翔モール」は、非常によくできていると感じた。アバターに扮した生徒がどのような接客をするのか注目しているいろいろな質問をしたが、きちんとした回答があった。接客態度も優秀であった。 ・西淀川区の広報誌にも「淀翔モール」が掲載されていた。これに掲載されていたURLが淀商のホームページにつながっていた。このような広報誌への掲載は、西淀川区民に配布されるため、とても効果がある。ホームページには学校の情報が詰まっており、更新頻度も多く、ぜひ継続していただきたい。 ・福祉ボランティア科が行った子どもへの絵本の読み聞かせなどは、「人にやさしい」学科の特徴をとらえた素晴らしい内容であり、生徒にとっては思い出に残るボランティア活動となった。 ・全国産業教育フェアや津山商業高校への見学については、実際にその現場に行き、触れて感じることで生徒の成長や学習に必要不可欠である。三菱みらい育成財団から執行されたと聞いているが、産業を支える素晴らしい人材を育成するためには、予算の裏付けが必要である。 ・私は、大学の商学部で、マーケティングと経営(マネジメント)を中心に専門の学習を行ってきており、今の仕事をしている。商業の学習は、簿記の資格取得だけではなく、時代に合わせた資格の取得が重要と思っている。資格を取る(検定に合格する)ために勉強するのではなく、その資格を活用し、将来、どうするのかを高校時代に身につけることが大切である。 ・キャリアコンサルタントの資格をもつ教員が、協賛会社に来て丁寧な説明をしていただいた。大学や就職における面接の練習など、キャリア教育を前提とした外部講師の活用をもっと考えてもよいのではと思う。 <p>(3) 特に意見はなかった。 (4) 次回の開催日は未定。</p>

次回の会議日程	
日時	令和6年2月予定
会場	未定